

進路ガイダンス開かれる

大学・短大19校、専門学校37校が来校

進路実現に向けて

5月12日5、6限に3年生を対象に進路ガイダンスが実施された。体育館、小体育館、剣道場などを会場に、大学短大19校、専門学校37校（看護医療系を含む）の方から直接話を聞いた。生徒たちは進路希望別にそれぞれ三校を選び、学校や学部の内容、受験についてなどの詳しい説明を受けた。看護医療系希望者は受験対策講座も受講した。また公務員、民間企業就職希望者は講師

進学資金講座も実施

5月28日、保護者対象の進学資金説明会が視聴覚室で実施された。進路情報会社の方とファイナンシャルプランナーの方より、現在の進学状況



熱心に話を聞く生徒

やその中での進学資金に関する考え方、具体的な奨学金や教育ローンに関する話などを説明された。参加した80名弱の保護者の方は、熱心に話に聞

すばる新聞

第2号
発行
県立市川昂高等学校
市川市東国分1-1-1
047-371-2841

き入っていた。

また、同日には午後二時半より三学年保護者対象の進路説明会も実施された。こちらも90名ほどの保護者が参加され、保護者の方々の進路に関する関心の深さが伺えた。本校進路指導部より、進学、就職についてそれぞれの状況や今後のスケジュール、注意点などが話された。



大勢の保護者が耳を傾けた

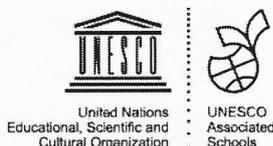
ESDをさらに推進

ユネスコスクールとしての取り組み

今年度のユネスコスクールとしての行事予定が発表された。旧市川西高校が県内公立高校初のユネスコスクールとして昨年度認定され、国際交流を中心とした行事が行われてきたが、今年度はさらにESD（持続発展教育）を進めるための取り組みが以下のように予定されている。

- ・異文化理解教育
- ・留学生の高校訪問、ベトナム政府派遣訪日団高校訪問、アメリカ語学研修、国際理解のための講

県内公立高校初のユネスコスクール
ユネスコ・スクール (ASPnet: Associated School Project Network)
市川昂高校では、キャリア教育、環境教育、防災教育、道徳教育、人権教育、金融教育、異文化理解教育を総合的な学習の時間、LHR、学校行事、授業等でESD（持続発展教育）を実践していきます。



ユネスコスクールに認定された学校のみが使用できるロゴマーク

- ・演会、中国高校生訪日団学校交流など。
- ・人権教育
- ・道徳教育教材による学習、DV防止講演会、人

権教育に関する講演会など。
・環境教育
水害に関する防災講話、生徒による防災学習研究成果発表会、地域清掃ボランティア活動など。
さらにPTAでも今年度からユネスコ委員会があらたに発足し、学校の取り組みとともに留学生の受け入れや日本文化の紹介などに積極的な活動が期待されている。

